

# 第13回いわき景気ウォッチャー調査

平成17年2月調査結果（平成17年3月28日発表）

東日本国際大学地域経済研究所 / いわき商工会議所

前回(04年11月)に下降局面に転じたいわき地域の景気は、今回調査ではほぼ前回同様の“踊り場”にあるが、業種別には大きなバラツキを見せている。

業種別には「企業動向関連」だけが上向いている。「家計動向関連」は全体では前回から変わっていないが、「飲食関連」は大幅に下落しておりほか、「住宅関連」も悪化している。これに対して「サービス関連」と「小売関連」がともわずかに上昇しており、業種間のバラツキが激しい。「雇用関連」は昨年初以降の下降傾向にある。

## 1. 全業種

「全業種」の現状判断DIは前回(04年11月)に比べわずか2.6ポイント(以下Pと略記)増のDI42.8で、景気のはばり目を示すDI50.0を2回連続して下回った。

判断構成比では「変わらない」47.5%(前回差0.6%)、「悪くなっている」37.3%(前回差-1.8%)とほぼ前回同様で低位停滞している。

## 2. 主要業種別

「企業動向関連」は現状判断DIが7.1P増の48.3と上昇、判断構成比でも「変わらない」が30.6%の減少、「良くなっている」が26.7%増加して26.7%を占めるなど上向いている。

「家計動向関連」はDIが1.7P増の40.9、構成比でも「変わらない」が10.2%増の48.8%とわずかに上向いているが、業態により大きなバラツキを見せている。悪いのが「飲食関連」でDIが前回差10.7P減の25.0、構成比でも「悪くなっている」が32.1%増の75.0%と大幅に下落している。「住宅関連」もDIが20.0P減、構成比で「良くなっている」が40.0%減と悪化している。逆に「サービス関連」はDIが11.5P増の48.2、構成比で「悪くなっている」が18.1%減と上昇傾向にある。「小売関連」もDIが2.2P増の37.5、構成比は「悪くなっている」が14.0%減少、「変わらない」20.0%増の58.8%とわずかな上昇となっている。

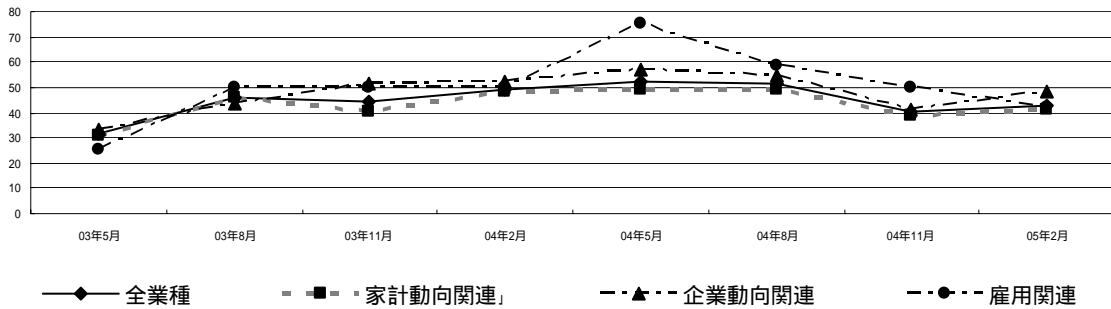
「雇用関連」はDIが8.3P減の41.7、構成比では「良くなっている」が33.3%減など下降傾向にある。

景気の現状判断(要約表)

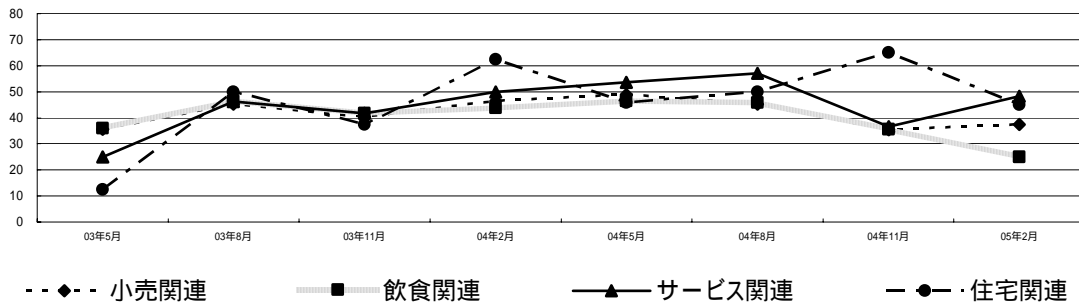
区分	現状判断DI		判断構成比(前回差)						
	DI	前回差	良くなっている (前回差)	変わらない (前回差)	悪くなっている (前回差)	悪くなっている (前回差)	悪くなっている (前回差)		
全業種	42.8	2.6	15.3%	1.2%	47.5%	0.6%	37.3%	-1.8%	
業種別	家計動向関連	40.9	1.7	12.2%	-6.0%	48.8%	10.2%	39.1%	-4.1%
	内 小売関連	37.5	2.2	5.6%	-6.2%	55.6%	20.3%	38.9%	-14.0%
	内 飲食関連	25.0	-10.7	0.0%	-14.3%	25.0%	-17.9%	75.0%	32.1%
	内 サービス関連	48.2	11.5	21.4%	8.1%	50.0%	10.0%	28.6%	-18.1%
	内 住宅関連	45.0	-20.0	20.0%	-40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%
	企業動向関連	48.3	7.1	26.7%	26.7%	40.0%	-30.6%	33.3%	3.9%
雇用関連	41.7	-8.3	0.0%	-33.3%	66.7%	33.4%	33.3%	0.0%	

(注)詳細は東日本国際大学地域経済研究所のHP(<http://tonichi-kokusai-u.ac.jp>)の「別表」を参照してください。

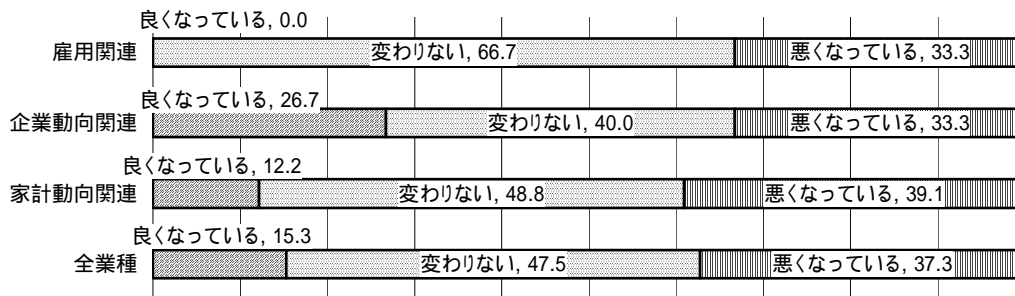
参考1 現状D<sub>I</sub>判断水準・推移グラフ(1):主要4業種



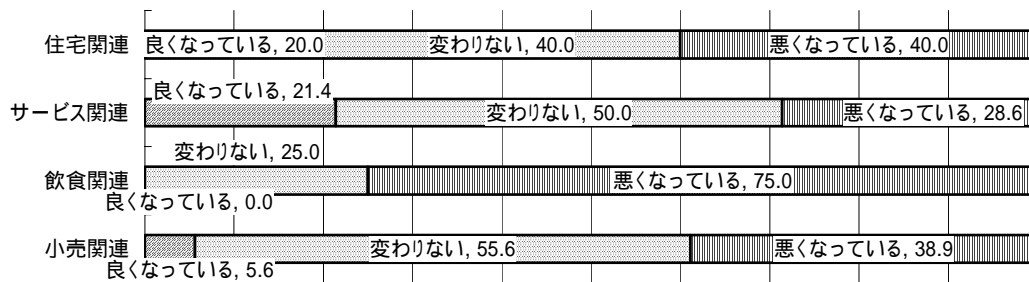
参考2 現状判断D<sub>I</sub>水準・推移グラフ(2):家計関連動向関連内訳4業種



参考3 現状判断構成比(1):主要4業種



参考4 現状判断構成比(2):家計動向関連内訳4業種



# 第13回いわき景気ウォッチャー調査

別表

表A 現状判断

## ・景気の現状判断 DI (推移)

DI	04年5月	04年8月	(前回差)	04年11月	(前回差)	05年2月	(前回差)
合計	52.4	51.2	-1.2	40.2	-11.0	42.8	2.6
家計動向関連	49.5	49.4	-0.1	39.2	-10.2	40.9	1.7
小売関連	49.0	45.2	-3.8	35.3	-9.9	37.5	2.2
飲食関連	46.4	45.8	-0.6	35.7	-10.1	25.0	-10.7
サービス関連	53.6	57.1	3.5	36.7	-20.4	48.2	11.5
住宅関連	45.8	50.0	4.2	65.0	15.0	45.0	-20.0
企業動向関連	56.9	54.7	-2.2	41.2	-13.5	48.3	7.1
雇用関連	75.0	58.3	-16.7	50.0	-8.3	41.7	-8.3

## ・景気の現状判断：業種別構成比(今回分)

区分	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	DI
合計	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%	42.8
家計動向関連	0.0%	12.2%	48.8%	29.3%	9.8%	40.9
小売関連	0.0%	5.6%	55.6%	22.2%	16.7%	37.5
飲食関連	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0
サービス関連	0.0%	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%	48.2
住宅関連	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	45.0
企業動向関連	0.0%	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%	48.3
雇用関連	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	41.7

## ・景気の現状判断(構成比推移)

### 1. 全体

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	43.8%	32.9%	12.3%	11.0%
	8	0.0%	26.6%	56.3%	12.5%	4.7%
	(前回差)	0.0%	-17.2%	23.4%	0.2%	-6.3%
	11	0.0%	14.1%	46.9%	25.0%	14.1%
	(前回差)	0.0%	-12.5%	-9.4%	12.5%	9.4%
05	2	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%
	(前回差)	0.0%	1.2%	0.6%	5.5%	-7.3%

### 2-1. 家計動向関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	36.5%	36.5%	15.4%	11.5%
	8	0.0%	26.7%	51.1%	15.6%	6.7%
	(前回差)	0.0%	-9.8%	14.6%	0.2%	-4.8%
	11	0.0%	18.2%	38.6%	25.0%	18.2%
	(前回差)	0.0%	-8.5%	-12.5%	9.4%	11.5%
05	2	0.0%	12.2%	48.8%	29.3%	9.8%
	(前回差)	0.0%	-6.0%	10.2%	4.3%	-8.4%

### 2-1-1. 小売関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	36.0%	32.0%	24.0%	8.0%
	8	0.0%	19.0%	52.4%	19.0%	9.5%
	(前回差)	0.0%	-17.0%	20.4%	-5.0%	1.5%
	11	0.0%	11.8%	35.3%	35.3%	17.6%
	(前回差)	0.0%	-7.2%	-17.1%	16.3%	8.1%
05	2	0.0%	5.6%	55.6%	22.2%	16.7%
	(前回差)	0.0%	-6.2%	20.3%	-13.1%	-0.9%

### 2-1-2. 飲食関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%
	8	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
	(前回差)	0.0%	4.7%	-9.6%	2.4%	2.4%
	11	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%
	(前回差)	0.0%	-19.0%	9.6%	-2.4%	11.9%
05	2	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%
	(前回差)	0.0%	-14.3%	-17.9%	35.7%	-3.6%

### 2-1-3. サービス関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	35.7%	50.0%	7.1%	7.1%
	8	0.0%	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	-7.1%
	11	0.0%	13.3%	40.0%	26.7%	20.0%
	(前回差)	0.0%	-22.4%	-17.1%	19.6%	20.0%
05	2	0.0%	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%
	(前回差)	0.0%	8.1%	10.0%	1.9%	-20.0%

### 2-1-4. 住宅関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%
	8	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-25.0%	33.3%	25.0%	-33.3%
	11	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	35.0%	-10.0%	-25.0%	0.0%
05	2	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-40.0%	0.0%	40.0%	0.0%

## 2 - 2 . 企業動向関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	55.6%	27.8%	5.6%	11.1%
	8	0.0%	25.0%	68.8%	6.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-30.6%	41.0%	0.7%	-11.1%
	11	0.0%	0.0%	70.6%	23.5%	5.9%
	(前回差)	0.0%	-25.0%	1.8%	17.2%	5.9%
05	2	0.0%	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	26.7%	-30.6%	9.8%	-5.9%

## 2 - 3 . 雇用関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
	11	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	-33.4%	33.3%	0.0%
05	2	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-33.3%	33.4%	0.0%	0.0%

**表 B 先行き判断**

### . 景気の先行き判断 DI (推移)

DI	04年5月	04年8月 (前回差)	04年11月 (前回差)	05年2月 (前回差)
合計	56.5	53.9	49.2	48.7
家計動向関連	55.3	52.2	47.7	47
小売関連	51.0	51.2	45.6	45.8
飲食関連	57.1	54.2	57.1	37.5
サービス関連	60.7	51.8	43.3	51.8
住宅関連	58.3	56.3	55.0	45.0
企業動向関連	58.3	57.8	51.5	55
雇用関連	66.7	58.3	58.3	41.7

### . 景気の先行き判断：業種別構成比 (今回分)

区分	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
合計	1.7%	23.7%	50.8%	15.3%	8.5%	48.7
家計動向関連	0.0%	26.8%	46.3%	14.6%	12.2%	47.0
小売関連	0.0%	16.7%	61.1%	11.1%	11.1%	45.8
飲食関連	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	37.5
サービス関連	0.0%	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%	51.8
住宅関連	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	45.0
企業動向関連	6.7%	20.0%	60.0%	13.3%	0.0%	55.0
雇用関連	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	41.7

・景気の先行き判断（構成比推移）

1.全体

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	1.4%	35.6%	56.2%	1.4%	5.5%
	8	0.0%	31.3%	53.1%	15.6%	0.0%
	(前回差)	-1.4%	-4.3%	-3.1%	14.2%	-5.5%
	11	1.6%	20.3%	56.3%	17.2%	4.7%
	(前回差)	1.6%	-11.0%	3.2%	1.6%	4.7%
05	2	1.7%	23.7%	50.8%	15.3%	8.5%
	(前回差)	0.1%	3.4%	-5.5%	-1.9%	3.8%

2 - 1 . 家計動向関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	1.9%	34.6%	53.8%	1.9%	7.7%
	8	0.0%	28.9%	51.1%	20.0%	0.0%
	(前回差)	-1.9%	-5.7%	-2.7%	18.1%	-7.7%
	11	2.3%	15.9%	59.1%	15.9%	6.8%
	(前回差)	2.3%	-13.0%	8.0%	-4.1%	6.8%
05	2	0.0%	26.8%	46.3%	14.6%	12.2%
	(前回差)	-2.3%	10.9%	-12.8%	-1.3%	5.4%

2 - 1 - 1. 小売関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	0.0%	24.0%	64.0%	4.0%	8.0%
	8	0.0%	28.6%	47.6%	23.8%	0.0%
	(前回差)	0.0%	4.6%	-16.4%	19.8%	-8.0%
	11	0.0%	11.8%	70.6%	5.9%	11.8%
	(前回差)	0.0%	-16.8%	23.0%	-17.9%	11.8%
05	2	0.0%	16.7%	61.1%	11.1%	11.1%
	(前回差)	0.0%	4.9%	-9.5%	5.2%	-0.7%

2 - 1 - 2. 飲食関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%
	8	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-23.8%	21.4%	16.7%	-14.3%
	11	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%
	(前回差)	14.3%	-19.0%	7.1%	-2.4%	0.0%
05	2	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	(前回差)	-14.3%	10.7%	-32.1%	10.7%	25.0%

### 2-1-3. サービス関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-21.5%	7.2%	14.3%	0.0%
	11	0.0%	13.3%	53.3%	26.7%	6.7%
	(前回差)	0.0%	-8.1%	-11.0%	12.4%	6.7%
05	2	0.0%	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%
	(前回差)	0.0%	22.4%	-10.4%	-12.4%	0.4%

### 2-1-4. 住宅関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%
	8	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	(前回差)	-16.7%	16.7%	-8.3%	25.0%	-16.7%
	11	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-10.0%	15.0%	-5.0%	0.0%
05	2	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	-20.0%	0.0%	20.0%

### 2-2. 企業動向関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	4.2%	-10.4%	6.3%	0.0%
	11	0.0%	29.4%	47.1%	23.5%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-8.1%	-9.2%	17.2%	0.0%
05	2	6.7%	20.0%	60.0%	13.3%	0.0%
	(前回差)	6.7%	-9.4%	12.9%	-10.2%	0.0%

### 2-3. 雇用関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	5	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-33.4%	33.4%	0.0%	0.0%
	11	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
05	2	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%

以上

# 景気判断理由等集

## ・景気現状に対する理由等

分野	判断（質問2）	判断の理由（質問3）
小売り	やや良くなっている	・前年比増が12ヶ月継続している。
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来街者が少ない事、土曜日曜日などは郊外大型店に集中して街中ってお客様がいない。</li> <li>・買上点数の減少</li> <li>・まだ消費が上向きになったとは見られない。</li> <li>・来客数はほぼ同じ位ですが、客単価が上がっています。まとめ買い、いかに来客数を多くするかがこれからの問題点です。</li> <li>・前回どのような答えとなりますが！！当店は個人のお店のために大型店の広告などにかなり左右されるところがあり、現状としてはあまり変わりません！！いま現在の状況として錦町に出店した大型スーパーの影響か人の流れが安定しない為に先が読めない状況です。</li> <li>・人が動いていない。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二丁目商店街のレンガ道路補修の為、車の通行止めの影響多大に有り。</li> <li>・都会での印象では良くなっている様ですが、客単価含めて非常にシビアになっている感じ。</li> <li>・天候の不順、昨年より2月が寒く、雪がちらつく日が多い。春物の動きが鈍いため、実績で前年を下回っている。</li> </ul>
	悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品物の購買力がない。買上点数が少なく安価な商品を選んで買って行く。</li> <li>・昨年の暖冬から一転して厳寒、気候のせいだけでなく、まだまだ零細事業にとってはまだまだ厳しい状況です。</li> </ul>
飲食	やや悪くなっている	・昔からいわれている2、8月でしょうかね。
	悪くなっている	・2月は毎年良くないが、それでも毎年少しずつ上昇していた売上がここに来て5年前の売上げにカタンと下がった。
サービス	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊単価の下落は続いているが、利用人数は前年比プラスで進級している。</li> <li>・新卒者の就職率が上がっているように思われるため。</li> <li>・IT関係が活発、求人の増加、等関連業界や銀行などからの情報も加味すれば良化傾向にあると思われる。但し、個人の消費行動は余計なモノは買わないなどのスタイルが定着。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月前はシーズンであったが、前年度よりかなり悪かった為。 (2月は前年度よりやはり悪い)</li> <li>・特殊要因がないため。</li> <li>・旅行業界としては、前年同様に法人関係の動きが鈍い。但し、団体旅行の実施(スーパー1社)がありますので、3ヶ月前と比較すれば殆ど変わらないと判断します。</li> <li>・収入減、支出増(社会保険、雇用保険、自賠責、リサイクル料などなど)でやりくりが大変と話す会社が多い。</li> <li>・月別の変動が大きいと思う。平均すると、変わらない。</li> <li>・お客様の動向を見ても、お金を落す金額を見ても変化は感じられない。</li> <li>・月により浮き沈みがあり安定性に欠ける。</li> <li>・特に変化の兆は感じられない。</li> </ul>



	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の消費単価減少傾向。</li> <li>自営業者は仕事がない、又あっても利益がない。サラリーマンは給与減又はリストラと良い話がないところに油の値上げ、公共料金関連の値上げと明るい材料がなし。</li> <li>1月度輸送実績、対前年比10%以上の落込み。</li> <li>年金の低下、税率のアップ等により高齢者出入が少なくなった。</li> </ul>
住宅	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画予定の段階から実施計画へと移行、新計画も出てきている。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事量は少し増えたが、利益率はそれ以上に悪化しているため、締めてみると「変らない」結果です。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注減。</li> <li>売上が3ヶ月前と比較して落ちてきている。</li> </ul>
企業	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末、新年度へ向け活発な動きが見られます。</li> <li>土地売買契約の増加。</li> <li>「あきらめ」が内在しているのかも知れないが、以前ほどに不景気の話が出なくなった。また、企業収入も下げ止まりの感がある。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国経済の一服感や自動車販売のじり貧感があるが、当社やいわきでは変化が見えない。</li> <li>良くなる条件がない。</li> <li>暖冬と言われて来たが実際は雪も多く寒い冬だった為、個人消費は活気がなかった。原油高も影響している。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>小売店、スーパーの売りが良くない。</li> <li>会社株式の売却及び分社化の話が多い。</li> <li>景気回復の兆候が見られるのは、ある程度の規模がある会社のみで、依然中小企業に改善の余地は見られず、むしろ悪くなっている印象を受ける。</li> <li>こここのところ見積件数が少なくなっている。</li> <li>量販店の前年割れ。人材派遣会社からの電話が多くなった。業績予測の下方修正など。</li> </ul>
雇用	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注金額に大きな変動が無。</li> <li>特別に景気の良い話しは聞こえない為。業種によっては若干上向いたという話しもあるが、先行は不安との事。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財政悪化による公共事業の大幅な削減や原油の高騰等により景気の先行き見通しが不透明なため、設備投資や新規雇用に企業が慎重になっているため。</li> </ul>

・景気の先行きに関する判断理由等

分野	判断（質問4）	判断の理由（質問5）
小売り	やや良くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失業率も改善の方向に進んでいる事から良くなって欲しいとの願望もある。</li> <li>・4月までは繁忙期ですが、その時期にいかに売れるかです。（いかに売れるかです。）</li> <li>・気配、客数</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良くなる事がなにもない。しかしこのままではいけないので自分の努力で息をつないでいる。</li> <li>・新入学の時期ですが、時計が売れません。（携帯電話時計付のため、ブライダルの指輪も、地味婚のため、望めない現状）</li> <li>・デフレ現象及びリストラによる可処分所得の減少</li> <li>・メディアでの景気に対する見方ではそんなに悪くならないようですが、実体的にはほんとうに分らなくなっているから。</li> <li>・長年、変化を感じられないし、又期待も出来ない。</li> <li>・業種的にはリーディングアイテムがないため現状維持であろう。ただ商店街という立地が駅前再開発に伴う閉店により厳しい条件となっていくのではないかと？</li> <li>・新聞広告などで求人情報を見ると景気が好転して来ているなど感じますが、消費動向の変化と高齢化に対応するには、零細事業者が個々では限界があり、景気の好転には時間を要すると思う。</li> <li>・相次ぐ大型量販店出店と既存スーパーの価格競争の激化に伴い先の予想は不能です。「ヨーカドー・マルト・フジコシ・ベニマル・一三三屋」などなど！！</li> <li>・買い物をするのにもより慎重になっているし、外食も少なくなっている。</li> </ul>
	やや悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人所得税の増額（配偶者特別控除の廃止等や社会保険料の値上げの話題等、消費マインドを低下させるような話題が多い。</li> </ul>
	悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の話から地元の仕事がなく出張が多くなっている。</li> </ul>
	飲食	<ul style="list-style-type: none"> <li>やや良くなる</li> <li>悪くなる</li> </ul>
サービス	やや良くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当グループの店舗展開が目覚ましい為。</li> <li>・愛知万博の開催、中部国際空港の開港とあって明るいニュースがあり、起爆剤になればと期待している。</li> <li>・3、4月は2月より動きがあります。ただ、前記と比べると良くなっているか分らないと思います。</li> <li>・先行受注状況で見ると前年同期比で100%超になっている。</li> <li>・賃上げ、ボーナスなど個人の懐に直結する経済見通しがやや明るさを感じられる状況。気候的にも又新入学、転出入など経済活動活性化要因あり。</li> <li>・広報宣伝に対する反応に良い感触をもつことが出来る。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の予約状況では、良くなっているとは言えない。月末で何とか前年比プラスの売上にしたい。</li> <li>・人数が増しても消費単価が下がっている為。</li> <li>・将来の景気に関する上昇要因となる特殊要因がないため。</li> <li>・改善する要因が見当たらない。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな公共事業があっても町が少しも活気づいていない。完成すれば少しは違うのかどうか期待したいと思います。</li> <li>・他県からのビジネスマンの宿泊がほとんどを占めており、現在も景気の悪い状態が続いており、会社の出張旅費も削減されている。近い将来急激に景気が回復するように感じ取れない。</li> </ul>
	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約状況鈍化傾向。</li> <li>・県内で一月中に 10000 万以上で倒産した事業が 100 社位あるといわれております折、タクシーなどの利用が低下されるものと思われる。</li> </ul>
	悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問 3 で回答した全国的な問題と当地方において明るい材料も見えてこないし、駅前開発や日産問題も先の話しであるから下降と判断。</li> </ul>
住宅	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社の受注もやや上向きだから。</li> <li>・クライアントに前向きの姿勢が見受けられる。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い意味で変わらないのではなく、停滞感がある。</li> </ul>
	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業における公共工事は縮小するばかりだし、このいわき市の産業構造でも景気をリードする要素がない。</li> </ul>
	悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事になる物件が見当たらない。</li> </ul>
企業	良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の冬は寒かった為春物の消費が伸びる。新製品の販売により購買意欲は高まる。(自動車、電化製品) 株価も上昇傾向にある。長期金利の上昇。</li> </ul>
	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株価が上がってきている。ペイオフ解禁も影響し、景気が良くなってくると思う。</li> <li>・期待の意味も込めて。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月下旬からゴールデンウィークまではあまり動きがないように思う。</li> <li>・春までは動きがないと思う。春からは季節感、期待感から動き出す。</li> <li>・現在の不景気感が続く。</li> <li>・良くなる要因も悪くなる要因もないため。</li> <li>・長期間で好に転と。</li> <li>・良くなる要因が見当たらない。かといって悪くなる要因も同様。</li> </ul>
雇用	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良くなるか悪くなるかの予測がつかないため。</li> <li>・新規求人は増加基調で推移しているが、雇用形態が派遣・請負契約社員・パートでの増加に留まっており正規従業員での雇用には至ってはいないため。</li> </ul>
	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内総生産 GDP の 3 四半期減少のニュースと経済成長率の前年よりの鈍化に伴い今後悪くなってくると思われる。</li> </ul>

## . その他見解

分野	判断の理由（質問3）
小売り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売業の中でヒット商品が生れてこない現状から起爆が欲しいところです。</li> <li>・デフレも脱却しているのですが、まわりの家賃で求められているのはどんどん安い物件になってきている。ほんとうにどういう状態なのか分らない。</li> <li>・仕事があっても単価が低く、賃金に反映しないので、どうしても少数、安価な商品という構図が癖になっているように思う。</li> <li>・消費者は買い物がしたいのです。が、先が不透明なので消費をしません。</li> <li>・上記、駅前再開発に伴う閉店・移転、そして大規模な工事でもここ2年間は商店街立地が厳しい。この調査に関して影響すると思われる。</li> <li>・回復気味である。増収、増益が確定してきた。来期もその気配がある。</li> <li>・先日、バス路線廃止のニュースが流れましたが、高齢化の中で生活の足の確保が問題で、地域の商店にとっても死活問題です。地域全体として、長期的に考えていかなければと思います。</li> <li>・前回同様の答えとなりますが、常磐共同火力発電所の施設の増設に伴い他県からの人達が当地区に多少入ってきているようです！！その為に新たなお客様は増えているようですが、不景気のせいか当地域の地場産業がいまいち振るわず、全体の傾向としてはプラスマイナスゼロの状況だと考えています。夜なども表をあるく人の流れもほとんどなく状況的には推測がかなり難しいと思います。最近飲み屋さんなどで耳にした話ですが火力さんの実験プラントの建設に伴い他県から当地域に来た人達に外での飲食は控えるようにとの会社側からの指導があり、あまり表での飲食はしないとの話聞いた事があります。まあ～どこまでの話かはわかりませんが、昨年と比べて飲み屋さんなので他県の人達をあまり見かけなくなったような気がします。</li> </ul>
飲食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常磐火力に入ってくる作業員ですが、未だにそれらしき様子がありません。どうなっているのでしょうか。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種を問わず、新店がオープンしているのを見かける。</li> <li>・本年は愛知県が経済的効果の重要な位置を占めると思います。</li> <li>・いわきの玄関はJRいわき駅であり、周辺の商店の活気がなく、1日も早い開発を要望するものであります。</li> <li>・残り何回？私のような意見で役に立つのかどうか不安と疑問でいっぱいです。</li> <li>・ガソリンスタンドに給油に来る車が以前より良い車になっている感がある、との情報あり。（スタンド従業員より）新車への乗換えが増加していることは以前よりも家計にゆとりが出てきた証ではないか。</li> </ul>
住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の景気に期待出来るものはないとしても、金が掛からない様、社会もスリムにしないとどうにもなりません。</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好間工業団地内企業では、昨年秋からこの春にかけて建設ラッシュ、企業稼働、倒産と大きく動いている。</li> <li>・身の回りでは景気回復の兆しは見られず、一定以上の規模を持つ会社のみが良くなっている感じがする。今後、一層貧富の差が出ていくのではないだろうか。</li> <li>・マイホームを購入する方が増えていると思う。特に20代後半～30代の購買意欲が高い。（泉が丘、郷ヶ丘、平成ニュータウンなど）</li> <li>・エコ商品を開発</li> <li>・当社は消防用品の販売を行っているが、自治体の需要は低下している。</li> <li>・下げ止まり、景気の上向きの感がするが、一方で、ます～資金繰り等を見ると景気は下がる一方の企業も多い。</li> </ul>
雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用がいくらか増えている。企業において社員構成のゆがみが出て来ており、その対応としての採用増企業と、投資（将来の）と見て採用増としている企業に分かれるが、景気が上向きという理由ではなく、勝ち残る為。</li> <li>・企業間での競争が激しいため、仕事を遂行するための免許・資格や経験年数が応募条件の一つになっている。</li> </ul>